

学びの特徴

- ① 現職派遣院生が学びに専念できる2年間
- ② 高知県の教育課題に対応できる力を養成
- ③ 実践と理論の融合
- ④ 科学的視点で教育実践を省察できる力を育成
- ⑤ “総合実践研究”で2年間の総仕上げ
- ⑥ CST(コア・サイエンス・ティーチャー)認定対応

実習科目(10単位)

実践

実習Ⅰ
(20日間)
(4単位)

学部卒 附属学校園もしくは県立高等学校
現職教員 在籍校、研究指定校、附属学校園

実習Ⅱ
(30日間)
(6単位)

学部卒 連携協力校
現職教員 在籍校、研究指定校、附属学校園

総合実践力科目(8単位) 理論的学びと実践的学びの融合

教育実践研究Ⅰ
(1年次)

教育実践研究Ⅱ
(2年次)

総合実践研究
2年間の総括

土佐の血鉢ゼミ 8月、2月
高知県の教育課題の教育実践研究発表

理論

コースの専門科目(8単位以上)

高知県の課題解決に向けた科目の設置

学校マネジメントコース

「高知県の地域教育リソース開発」
「学校管理職の役割と実践」
「学級経営の開発的実践」
「保幼小中高連携によるキャリア発達」
「学校組織開発の理論と実践」
「組織的な生徒指導と人権教育」など

授業実践コース

「高知県の教育実践の実態把握と教育方法の開発」
「道徳教育の理論と実践」
「授業における ICT 活用の開発的実践」
「教育評価から捉える子どもの心理と理解」
「学習指導法の理論と実践」
「授業分析・改善演習」など

特別支援教育コース

「高知県の特別支援教育の実態把握と分析」
「特別支援教育の理論と推進・連携体制の構築」
「限局性学習症指導の理論と実践」
「知的障害指導の理論と実践」など

共通科目(20単位)

教育課程の編成・実施

開かれた教育課程の開発と実践

ユニバーサルデザインに基づく特別的教育課程の開発と実践

教科等の実践的な指導方法

アクティブラーニングの理論と実践

ICTを活用したデジタル教育の理論と実践

生徒指導及び教育相談

変動する社会と生徒指導の理論と実践

教育相談の理論と実践

学級経営及び学校経営

学校組織マネジメントの理論と実践

学級経営の理論と実践

学校教育と教員の在り方

高知県の学校教育をめぐる現代的課題

教育実践を科学するーデータサイエンスでみる高知県の教育課題ー

コア・サイエンス・ティーチャー(CST)養成科目

取得できる専修免許

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教諭専修免許状が取得できます。ただし、取得しようとする専修免許状の一種免許状を有することが必要です。

入試情報 入学定員15名

特別選抜10名程度
(現職派遣教員特別選抜)

試験内容
① 入学希望等調書
② 口述試験

一般選抜 5名程度
試験内容

① 入学希望等調書
② 筆記試験
③ 口述試験



ホームページ



問合せ先

高知大学総務課教育事務室教職大学院係
〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5番1号
TEL&FAX:088-844-8457

学部卒学生は、名簿記載期間延長制度(詳しくは受験する自治体の募集要項を要参照)への申請により、教員採用試験に合格した上で教職大学院に進学することも可能です。

2026 高知大学教職大学院



本気で学び続ける教員になろう!
経験を理論へ 理論を実践へ

大学と教育委員会の連携による教員養成の高度化を目指します

高知県の教育課題に対応した3つのコース

学校マネジメントコース

学校・学級経営の
スクールリーダー育成

学校の教育活動を効果的にマネジメントして組織改革を実行することができ、また、不登校などの生徒指導上の諸課題にも組織的に対応できる学校・学級経営を推進しリードできる人材を育成します。

授業実践コース

授業実践に関する研究を
組織しリードできる人材育成

教科等の学習指導などの教育実践の高度化を図って全ての子どもたちに質の高い学びを保障することができ、また、授業実践に関する研究を組織しリードできる人材を育成します。5教科と道徳を配置。

特別支援教育コース

特別支援教育に関する
専門知識を有し、組織的な推進体制を構築できる人材育成

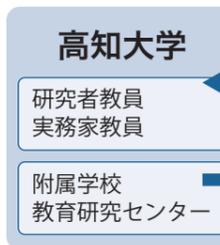
個別の障害像に即した実態把握に基づき個別の指導計画を立案し、それを実践して適切な教育評価により指導の効果を検証することができ、また、特別支援教育に関する組織的な推進体制を構築できる人材を育成します。

教員組織と指導体制

研究者教員と実務家教員からなる教員組織。院生一人につき主指導教員1名、副指導教員2名体制で、2年間の教育実践研究をサポートしています。

高知県教育委員会と高知大学の連携について

- 高知県公立学校教職員等研修体系に対応した教育課程
- 広く高知県の教職員の指導力向上のために教育オープン講座を開催
- 教育実践研究、授業提供
- 現職派遣院生の在学中及び修了後において継続的な研究活動支援
研究紀要の発行、学会参加、研究発表



- 教職大学院連携協議会を設置して意見交換
- 実習コーディネーターを配置して実習を支援
- 修了生の研究発表の機会を提供

土佐の血鉢ゼミ

高知県の教育課題に基づく教育実践研究の発表を通して理論と実践の融合を図ります。



院生の実践研究の構想や成果・課題の発表を中心に、参会の多様なメンバーで学びあう合同ゼミです。県内教育関係者も多数参加した活発な意見交流が行われます。



院生の研究成果公表

実践研究の成果は、研究紀要論文として公表しています。

大学院HP「学校教育研究センター」に掲載



2年間の実習で取り組んだ成果を広く公表しています。「働くために必要なスキルについての SST 教材」スライド・ワークシート「アサーション・トレーニング」展開案・ワークシート

Youtube動画で解説しています。



教職大学院 1 年次 履修スケジュール

共通科目 専門科目 総合実践力科目 実習科目



学校マネジメントコース
小林 絵里子 さん

在院生の声 学校マネジメントコースは、学校経営計画や学校組織開発、学校評価などを事例を通して学び、学校運営の背景にある理念や考え方を理解できるコースです。講義では、管理職の役割やリーダーシップ、学校のリスクマネジメントについて学び、学校運営を総合的に捉える視点を養います。実習では管理職とともに学校運営に関わり、教育活動をマネジメントする視点や、組織として学校改革を進める実践的な経験を積みます。不登校などの生徒指導上の課題についても、学級経営と学校組織の両面から考えていきます。校種の異なる院生と共に学びながら、多様な視点に触れ、理論と実践を往還しながら学校マネジメントへの理解を深めていける点もこのコースの魅力です



授業実践コース
和田 萌花 さん

在院生の声 授業実践コースでは、担当教科の専門的な学びに加え、心理学や社会学の視点から子どもを捉える教育評価、ICTを活用した学びなど、多面的な視点から授業づくりについて学ぶことができます。各分野の大学教員から、授業に関する理論と実践の双方を深く学べる点や学んだことをすぐに実習校で授業実践できる点は、このコースの魅力です。また、講義には、協議・事例検討・模擬授業といった演習が随所に組み込まれ実践的に学ぶことができます。これまでの自身を振り返り、これからの授業づくりについて見つめ直すことで、授業に対する視野が広がります。二度とない貴重な2年間を全力で駆け抜け、子どもたちの成長を支える実践力を磨いていきたいです。



特別支援教育コース
高橋 美里 さん

在院生の声 特別支援教育コースでは、これまで教育現場で行われてきた指導や支援を振り返り、これからの特別支援教育のあり方について探求しています。高知県の教育課題のひとつである、多様性・包摂性を尊重する教育の推進に焦点を当て、協働的な学びを通じて、具体的な対応や支援策を考え、実践力を養います。校種の異なる仲間と学び合うことで、多面的な視点や多様な考え方に触れ、新たな知見を得ることができます。特別支援教育が学校現場で重要であることを改めて認識し、子どもにとっても教師にとっても欠かせない学びを深めながら、未来の教育を担う力を育みます。

高知大学教職大学院の
Youtubeチャンネル
PR動画第8弾公開!



今すぐcheck!



#8 学部卒学生(ストレートマスター)編

教職大学院 2 年次 履修スケジュール

共通科目 専門科目 総合実践力科目 実習科目



学校マネジメントコース 学校マネジメントコースのゼミでは、学校の教育活動を効果的にマネジメントし、組織改革を推進できる人材の育成とともに、不登校をはじめとする生徒指導上のさまざまな課題に対して、組織的に対応できる力を育むことを目標としています。

各自の研究テーマについては、国や県の教育施策の動向や先行研究を踏まえた指導を受けながら、実習での実践を通して研究を深めていきます。さらに、ゼミでの学びと実習が相互に結び付くことで生まれる「理論と実践の往還」を実感する中で、院生同士が刺激を受け合い、学びを高め合う場となっています。(久保田 慎)



授業実践コース 授業実践コースのゼミでは、教育現場の課題に応える授業改善を目指し、学んだ理論や知識を実際の授業に生かす取り組みを進めています。特に、各教科の教授から直接いただける専門的な知見や最新の教育理論は、現場では得られない貴重な学びであり、授業づくりの大きな支えになっています。その知識をもとに、教材研究や授業デザインを考え、実践後にはデータ分析を通して授業の質を高めています。さらに、院生同士が教科や校種の枠をこえて、教授の指導を踏まえた模擬授業や研究協議を重ねることで、よりよい授業の形を幅広い視点で考え、互いに学び合う環境を築いています。(時久祥香)



特別支援教育コース 特別支援教育コースのゼミでは、特別な支援を必要とする児童生徒が、クラスの仲間と共に安心して学び、成長できるようにするための様々な工夫について探究しています。インクルーシブ教育の実践や校内支援体制のあり方、学びやすさを高める教材開発、さらに特別支援学校における取り組みなど、理論と現場実践を往還しながら学びを深めています。担当教員からの助言は一人ひとりの研究の方向性や課題を明確にしてくれます。多様な校種から集うゼミ生同士が議論を重ねることで、多角的な視点が広がり、「多様性を力に変える学びの場」として、温かく刺激的な学びが展開されています。(山岡ゆう子)



学び合う仲間たち



院生室の様子

総括
血鉢ゼミ 研究成果報告